

THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

平成8年4月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN

〒104 東京都中央区銀座7-16-3 Tel (3541)4411(代)

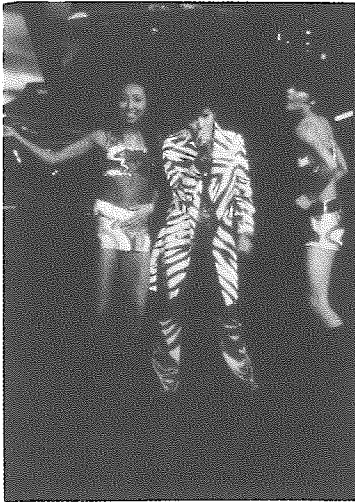
平成8年4月号 No. 437

第10回日本ゴールドディスク大賞授賞式開催!

記念すべき10周年を迎えた当協会主催の日本ゴールドディスク大賞授賞式が、3月12日(火)、東京渋谷区のNHKホールに於いて盛大に開催されました。

今回は、邦楽・洋楽の両ジャンル受賞者であるtrf、マライア・キャリーが共に式に出席され、第10回目の記念イベントにふさわしい盛り上がりを見せました。

式は、松尾会長の挨拶、オープニ



trfのライブ



マライア・キャリーのライブ

ングのヒップホップダンスショー、続いて、司会の赤坂泰彦さん、西田ひかるさんのおふたりが登場して始まり、その後、各賞の発表と授賞が行われました。

また、今年も、受賞者によるライブ演奏が行われ、岡本真夜、スキャットマン・ジョン、クライズラー&カンパニー、内田有紀、ダルフアー、trf、マライア・キャリーの皆さんが熱演を繰り広げま

した。

また、この授賞式の模様は、3月12日当日に、NHK衛星第2放送、23日にはNHK総合放送にて放送されました。

なお、NHK総合放送の視聴率は、関東地区で14・0%、関西地区で15・0%(ビデオリサーチ調べ)を記録しました。



フィナーレ

会長交替のご挨拶



高野 宏

この度は、皆様のご推挙を頂き、日本レコード協会会長の重責を担うことになりました。

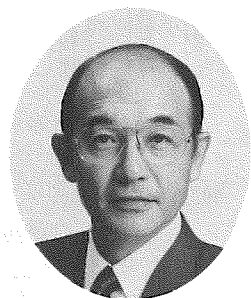
昨年度の日本経済は、それまで3年間続いたゼロ%台の成長を脱し若干上向いてきたものの、雇用情勢の不安は根強く本年の経済成長もごく緩やかなものにとどまると思われます。加えて、業界を取り巻く環境は昨今一段と厳しいものがあり、取組まなければならない重要課題の多さに責任の重さを痛感する次第です。

さて、昨年は再販制度が大きくクローズ・アップされ、関連業界一丸となってその擁護に取り組んだ結果、当面の危機的状況を脱することができましたが、依然厳しい状況に変わりはなく引き続き重要な課題であります。我が国の音楽産業は再販制度の下、大衆音楽や伝統芸能から世界各国の最新音楽・民族音楽まで幅広い作品を音楽ファンに提供し音楽文化の維持向上に努めてきました。また、再販制度は安定した音楽マーケットを形成し、海外の作家やアーティストから高い評価を受けるとともに、音楽ファンにとっても大きなメリットになっております。

一方、技術進歩、とりわけ音楽産業にかかわる進歩は目覚ましく、またインターネット・ブームやパソコンの一般家庭への飛躍的な普及はデジタル化・ネットワーク化の本格的な時代が目前に迫ってきたことを実感させられます。新しい技術は音楽業界にとっては新しいビジネスチャンスを生み、消費者に対しても高品質・高付加価値商品を提供することができます。その反面、従来の諸制度の見直しは不可欠であり、特に著作権制度の整備充実是我が国の国際的役割を含めて極めて重要なものがあります。レコード製作者の基盤確保と権益拡充のため、更に取り組みを強化していきたいと思えます。また、音楽業界活性化のための需要拡大にも諸施策を講ずるなど取り組むべき課題は多岐に亘りますが、「次の時代、新しい技術の時代に向かって“今なにをなすべきか”」を常に問いながら、会員各社の積極的な発言とご協力を得て、爽り多い時代を築きたいと思えます。

松尾前会長の下、日本レコード協会は再販制度の擁護をはじめレコード製作者の権益拡充のために、果敢な発言と積極的な行動により関係諸法令の改正など多大の成果を納めることができました。松尾前会長のご努力とご指導に心から敬意と感謝を表したいと存じます。

私も微力ながら、レコード業界の一層の発展のため全力を尽くしたいと考えておりますので、引き続き皆様のご支援をお願い致します。



松尾 修吾

日本レコード協会の会長を、お引き受けし、早いもので2年の月日が経過いたしました。

今まだ、激しく動く環境を認識しつつ、2年間を顧みますと「民生用CD-R問題」にはじまり、阪神大震災の勃発と業界としての救援活動、著作権審議会による「検討経過報告書」公表に代表されるマルチメディアの話題の沸騰とレコード産業としての対応、TRIPS協定の締結に伴う著作権法の改正、著作物の再販制度見直しの動向の活発化、更には欧米よりの海外のレコード製作者の隣接権保護に関するWTO提訴の問題等々、実に目まぐるしい2年間であったというのが、偽らざる心境です。

多くの難問を抱えながらも、何とか任務を全うし得たのも偏に、副会長、理事各位や事務局スタッフを始め、関係各団体の皆様のご協力とご支援の賜物であり、ここに深く謝意を表する次第です。

就任早々より直面した「民生用CD-R問題」は、世の中のデジタル化、ネットワーク化にどのように対応していくかという具体的なひとつの問かけでありました。昨年11月には権利者団体の総意としての要望を纏め上げハードメーカーに対して提出いたしました。この問題の本質からとらえると、第1ラウンドが終了したに過ぎません。

また、昨年の公正取引委員会の中間報告の公表以来、俄に緊迫した状況を迎えた著作物の再販制度見直しの動向に関しては、関連10団体により「音楽文化懇談会」を発足しこの2月には、再販擁護総決起大会を開催するなど、活発な運動を展開してまいりましたが、未だ再販制度存続という結論を得るには至っておりません。

これらの問題は日本のレコード産業のみの問題に止まらず、より広いコンセンサスが求められるものであり、今後の重要課題として新会長に引き継いで頂くこととなりますが、私も今後は一理事の立場で引き続き微力を尽くしたいと存じます。

最後になりましたが、在任中、皆様よりお寄せ頂いた、多大なご協力とご支援に対し、重ねて心よりお礼を申し上げ、併せて皆様のご健勝を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

ジョイサウンド社発売CDに対する 差し仮処分命令申し立て起こす

世界の6大メジャーレコード会社のアメリカのソニー・ミュージック・エンタテインメント社、BMGミュージック社及びイギリスのEMIレコーズ社の3社は、3月26日、昨年の11月頃から首都圏を中心に各地で販売されている海賊盤CDの製造、販売業者のジョイサウンド株式会社（東京・練馬区）、株式会社アーク（東京・杉並区）、ウエイズ株式会社（東京・文京区）の3社に対し、著作権法違反として、レコードの製作、輸入又は頒布の差し止めを求める仮処分の申請を東京地裁民事29部に起こしました。

債権者及び債権者のライセンスシー会社の調べによって、これらの「ジョイサウンド社」発売によるCDに録音されている音源が、債権者らの許諾を得ずに無断で使用されていることが分かりました。

当協会の調査によると、これらの海外有名アーティストのヒット曲を無断で編集録音した「ジョイサウンド社」発売による「ヒッツ・アンド・ヒッツ・シリーズ」及び「ベスト・シリーズ」のCDの種類は、52種類

に上り、本仮処分申請ではその内、債権者らが有するレコードの複製権を侵害している43種類の海賊盤CDについて、著作権法違反として、レコードの製作、輸入又は頒布の差し止めを求め、仮処分の申請を起しました。

また、同日、東京地裁・司法記者会において、弁護士岡邦俊氏、小畑明彦氏、当協会より、木村三郎常務理事、千葉卓男事務局長同席のもと、本件に関する記者会見を行いました。



隣接権審議会WG調査報告、発表会開催

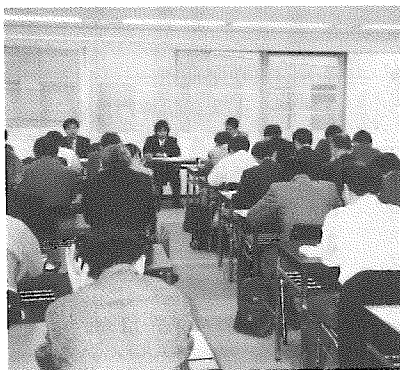
3月4日、当協会会議室において著作隣接権審議会・作業部会（部長・後藤理事）と、(株)野村総合研究所との共同作業で進められてきた「デジタル化・ネットワーク化社会におけるレコード製作者の権利保護及び権益保全に関する調査・研究」の報告会が、(株)野村総合研究所より講師を招き開催されました。

この調査は著作隣接権審議会（座長・伊地知理事）の作業部会が昨年7月に発足。今年の1月までかけて実施されたもので、デジタル技術、メディアの革新が進む中で、現行の法制度や技術的手段ではレコード製作者の権利保護が不十分との認識のもと、メディアと関連サービスの今後の展開とその時期を見据えるとともに、レコード製作者の権利の保護と権益の保全のために、対応していくべき方向を明らかにすることを目的として実施されたものです。

今回の調査のテーマが、レコード産業にとって、最も重要かつ緊急な課題として掲げられている「デジタル化、ネットワーク化に対する対応」を具体的に考察したものである

ことから、報告会は会員各社より積極的な参加申込があり、会場は用意した80席が、満席の状態という熱気に満ちたものとなりました。

今回の研究調査により、①送信権獲得及び著作権法第30条改正に向けた活動の展開②データ配信事業者、放送事業者等の動向に関する継続的調査③ISRCの実証研究④クオリティや価格等、音楽ソフトとその流通に対するユーザーニーズの調査等々、当面取り組むべき課題が提言されており、今後は著作隣接権審議会の場で対応を協議する予定です。



新執行体制スタート

3月29日、当協会役員会議室において、当協会、第287回理事会が開催され、平成8年4月1日からの副会長、専務理事、常務理事、各委員長、新委員長が下記の通り承認されました。

◆役員一覧(敬称略)

- 会長 高野 宏
 (日本コロムビア株式会社)
 副会長 富塚 勇
 (ビクターエンタテインメント株式会社)
 // 池口 頌夫
 (キングレコード株式会社)
 // 佐藤 修
 (BMGビクター株式会社)
 専務理事 木村三郎
 常務理事 千葉卓男
 ◆各委員会の委員長、担当理事一覧 (敬称略)
 予算委員会
 早川 理事 (VAP)
 法制委員会
 野田 理事 (PI)
 技術委員会

- 富塚 理事 (V)
 二次使用料委員会
 小杉 理事 (WJ)
 貸レコード対策委員会
 折田 理事 (PO)
 JASRAC委員会
 後藤 理事 (FL)
 需要拡大委員会
 アブラモフ理事 (MME)
 日本GD大賞委員会
 新田 理事 (FUN)
 音楽ギフトカード委員会
 桑田 理事 (TE)
 日レ商懇談会
 池口 理事 (K)
 日本音楽家ユニオン委員会
 岩田 理事 (MV)
 会長選考委員会
 徳間 理事 (TJC)
 再販問題プロジェクト
 乙骨 理事 (TO)
 著作隣接権審議会
 池口 理事 (K)
 新商品対応プロジェクト
 佐藤 理事 (BV)

日本ゴールドディスク 大賞10周年記念 百万円プレゼントキャン ペーン公開抽選会開催

3月14日、当協会に於いて、新田GD大賞実行委員長同席のもと、日本ゴールドディスク大賞10周年記念の百万円プレゼントキャンペーンの公開抽選会が行われました。
 タイズの内容は、邦楽・洋楽2組のグランプリアーティストを当てるもので、応募総数は、9万0155通、内、正解者は3万2456通で正解率は約36%でした。
 現金百万円当選者2名と10万円分音楽ギフトカード当選者10名は以下の通りです。

- 【現金百万円】
 千葉県鴨川市 島川 節子さん
 福井県敦賀市 高橋 香織さん
 【10万円分音楽ギフトカード】
 北海道恵庭市 国広 勝 さん
 岩手県釜石市 佐々木高士さん
 栃木県大平町 天谷 勝也さん
 神奈川県横須賀市 本山 大介さん
 愛知県西尾市 山崎 昌子さん
 愛知県設楽町 後藤 晃一さん
 兵庫県西宮市 松井はづきさん
 愛媛県新居浜市 篠原 朝子さん
 福岡県北九州市 田代 学 さん
 宮崎県延岡市 甲斐 達朗さん

会議メモ (主なもの)

(3月1日～3月31日)

- | | | |
|------------------|----------------|----------------|
| 3・7 営業部会 | 3・13 著作権部会 | 3・21 洋楽部会 |
| 3・8 レード制作基準倫理委員会 | 3・13 調査統計部会 | 3・26 洋楽宣伝専門部会 |
| 3・8 JASRAC委員会 | 3・14 JASRAC委員会 | 3・26 ビデオ部会 |
| | 3・14 需要拡大委員会 | 3・28 情報システム部会 |
| | 3・15 Q盤プロジェクト | 3・28 JASRAC委員会 |
| | 3・18 洋楽企画専門部会 | 3・29 理事会 |
| | 3・19 業務委員会 | |
| | 3・19 邦楽制作部会 | |

日本レコード協会

平成8年度事業計画(概要)

〔重点施策項目〕

- 1.レコード製作者の権益の拡充
 - 2.デジタル技術の進展に伴う諸問題への対応
 - 3.再販制度存続活動の展開
 - 4.需要拡大、PR事業の推進
 - 5.放送二次使用料と私的録音補償金の見直し
 - 6.国際間の情報収集・交換と諸問題への対応
- 〔事業計画〕
- レコード製作者の権益に関する事業
- ・著作権法改正関連問題の促進(送信権、輸入権、演奏権等)
 - ・レコード二次使用料指定団体業務及び二次使用料関連対策の実施
 - ・貸レコード使用料指定団体業務及び貸レコード業対策の実施
 - ・私的録音録画補償金の指定管理団体の構成員としての業務
 - ・不法複製レコード対策の実施
 - ・著作隣接権・著作権関係契約諸対策の実施
 - ・IFPI、RIAA等海外レコード産業関係機関との連携・協力
 - ・WIPOの事業・国際的法整備検討への参画
 - ・私的録音録画補償金制度懇談会への参加協力

の参加協力

- ・文化庁著作権セミナーへの協力
- ・著作権情報センター等への協力
- ・不正商品対策協議会への協力
- ・デジタル化・ネットワーク化に伴う権利と利用に関する連絡協議会への参加

再販制度の存続活動の展開

- ・音楽文化懇談会の事務局としての諸活動の推進と全体の取りまとめ
- ・行政改革委員会・規制緩和小委員会、公正取引委員会・再販問題検討小委員会等の各報告書への対応
- ・国会議員、関係官庁等へ陳情書の提出

需要拡大に関する事業

- ・需要拡大キャンペーンの実施
- ・音楽ギフトカード普及対策の実施
- ・日本ゴールドディスク大賞の実施
- ・ゴールド・アルバム等の認定
- ・ヒットチャート・データの発表
- ・PR、渉外に関する事業
- ・著作権思想の普及
- ・レコード週間行事の検討・実施
- ・大学著作権寄附講座の継続実施
- ・営業・宣伝に関する事業
- ・需要拡大策の具体的な展開
- ・営業・宣伝関係諸問題の研究

制作に関する事業

- ・レコード倫理に関する自主規制
- ・マスコミ倫理懇談会への協力
- ・文化庁芸術作品賞への協力
- ・税制に関する事業
- ・法人税、消費税等税制への対応
- ・税制改正要望の検討
- ・税制研修会の開催
- ・技術に関する事業
- ・国際レコード技術会議の開催
- ・デジタル録音・再生システムの動向調査及び対応策の検討
- ・次世代高密度ディスクに関する調査研究及び対応策の検討
- ・ソフト関連情報の記録・伝送に関する国際ルールの確立
- ・デジタル伝送系の技術開発動向の調査及び対応策の研究
- ・ISRCの実施促進及び運用に関する具体化推進
- ・PL法に対応した消費者保護対策の研究・実施
- ・レコードの制作・製造・品質技術に関する調査研究・標準化推進
- ・情報システムに関する事業
- ・「れこどばん」の普及促進及び運用の円滑化
- ・総合情報ネットワーク化に関する調査・研究
- ・調査に関する事業
- ・アジアの音楽産業問題に関する事業
- ・ビデオ事業に関する諸問題の研究

■会員社住所変更のお知らせ

当協会会員社のエイベックス・デイー・ティー(株)は移転し、2月26日より左記の住所で営業しておりますのでお知らせします。

記

〒107 東京都港区南青山3-1-30

住友生命青山ビル

☎〇三五四一三二八五五〇(総務)

以上

■日本レコード普及(株)役員改選

日本レコード普及(株)は、去る2月27日の臨時株主総会において、役員改選を行い、新取締役会長(非常勤)に、桑田信之氏(テイチク(株)代表取締役社長)の就任を決定しました。他役員は全員留任となっております。

■協会人事

当協会人事が、4月1日付で以下の通り発令されましたので、お知らせいたします。

記

広報室室長 岡田 知巳

技術部部长代理 北村 幸市

業務部企画課課長 日本コロムビア(株)より出向 塩浦 純一

業務部業務課課長 久保田修二

以上

※なお、鈴木明前広報室長は、(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント社へ復職されました。

日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成8年2月度(96年1月21日~96年2月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル 5位			
1.	名もなき詩	Mr. Children	(TF)
2.	空も飛べるはず	スピッツ	(PO)
3.	DEPARTURES	globe	(BV)
4.	river	CHAGE & ASKA	(PC)
5.	ラスト シーン	布袋寅泰	(TO)
■洋楽シングル 5位			
1.	TO LOVE YOU MORE	セリーヌ・ディオン with クライズラー&カンパニー (SME)	
2.	I'll DO IT	NAHKI & ダイアナ・キング (SME)	
3.	ドゥビ・ドゥビ	ミー・アンド・マイ (TO)	
4.	青春の輝き/ トップ・オブ・ザ・ワールド	カーペンターズ (PO)	
5.	パラダイス〜愛のテーマ	TAKE 6 (WJ)	
■邦楽・洋楽合同アルバム 5位			
1.	バンザイ	ウルフルズ (TO)	
2.	LOOKING BACK	小田和正 (FUN)	
3.	HEY MAN	MR. BIG (EW)	
4.	BEAT out	GLAY (PO)	
5.	The Greatest Princess	プリンセス・プリンセス (SME)	
■クラシックアルバム 5位			
1.	パッション	ホセ・カレーラス(T)/ マイケル・リード指揮 (WJ)	
2.	チャイコフスキー: ピアノ協奏曲 第1番変ロ短調 op. 23	アルゲリッチ(p)/ アバド指揮ベルリン・フィル (PO)	
3.	アダージョ: モーツァルト	オムニバス (PO)	
4.	アダージョ: カラヤン	ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮 /ウィーンP.O (PO)	
5.	アダージョ: カラヤンII	ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮 /ベルリンP.O (PO)	
■洋楽アルバム 5位			
1.	HEY MAN	MR. BIG (EW)	
2.	青春の輝き 〜ベスト・オブ・カーペンターズ	カーペンターズ (PO)	
3.	ドゥビ・ドゥビ	ミー・アンド・マイ (TO)	
4.	ベスト・オブ・ スウィング・アウト・シスター	スウィング・アウト・シスター (MME)	
5.	メモリー・オブ・トゥリーズ	エンヤ (WJ)	

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/ティチク(TC)/ホリドール(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパンコミュニケーションズ(TJC)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/マーキュリー・ミュージックエンタテインメント(MME)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/アポロン(AP)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トラスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファミュージック(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECアベニュー(NA)/メルタック(ME)/TDKコア(TDK)/メディアレモラス(MR)/トイズ・ファクトリー(TF)/バンダイ(BC)/パイオニアLDC(PI)/MCAビクター(MV)/ロックイットレコード(RO)/エイベックス・ディー・ディー(AVT)/ツインレコーズ(ZA)/ルームレコーズ(BM)/ビーグラムレコーズ(BG)/ワン・アッパ・ミュージック(EP)

2月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

2月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム (16作品)

【邦楽】

◆2ミリオン

BACK BEATs #1 / 大黒摩季 (BG)

◆クワドラプル・プラチナ

DANCE TRACKS VOL. 1

/ 安室奈美恵 (TO)

◆トリプル・プラチナ

ハチミツ / スピッツ (PO)

◆プラチナ

空の飛び方 / スピッツ (PO)

バンザイ / ウルフルズ (TO)

LOVE TOGETHER / 広瀬香美 (V)

◆ゴールド

LOOKING BACK / 小田和正 (FUN)

BEAT out / GLAY (PO)

The Greatest Princess

/ プリンセス・プリンセス (SME)

THE HIGH-LOWS

/ THE HIGH-LOWS (KT)

【洋楽】

◆プラチナ

HEY MAN / MR. BIG (EW)

ア・ナイト・トゥ・リメンバー

/ シンディー・ローパー (SME)

メモリー・オブ・トゥリーズ / エンヤ (WJ)

◆ゴールド

バルブ・フィクション

/ オリジナルサウンドトラック (MV)

モーニング・グローリー? / オアシス (SME)

フットルース / ケニー・ロギンス 他 (SME)

■シングル (24作品)

【邦楽】

◆2ミリオン

名もなき詩 / Mr. Children (TF)

DEPARTURES / globe (AVT)

◆トリプル・プラチナ

Chase the Chance / 安室奈美恵 (AVT)

◆ミリオン

空も飛べるはず / スピッツ (PO)

◆ダブル・プラチナ

マイ フレンド / ZARD (BG)

◆プラチナ

river / CHAGE & ASKA (PC)

ラスト シーン / 布袋寅泰 (TO)

ガッツだぜ!! / ウルフルズ (TO)

胸さわぎを頼むよ / SMAP (V)

冬のファンタジー / カズン (SME)

◆ゴールド

グロリアス / GLAY (PO)

LOVE NEVER DIES

/ THE ALFEE (PC)

幸せになりたい / 内田有紀 (K)

そばかす / JUDY AND MARY (SME)

プライマル / ORIGINAL LOVE (PC)

RHYTHM EMOTION / TWO-MIX (K)

花 / 石嶺聡子 (TO)

GAME / L←R (PC)

So Blue / 森高千里 (EP)

おまえが欲しい / とんねるず (PC)

FOREVER / 岡本真夜 (TJC)

メイド・イン・ジャパン / V 6 (AVT)

【洋楽】

◆ゴールド

ドゥビ・ドゥビ / ミー・アンド・マイ (TO)

I'll DO IT

/ NAHKI & ダイアナ・キング (SME)

1996年 2月レコード生産実績

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオディスク

	2月 実績						1996年(1月~2月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	19,726	48	146	13,070	28	156	30,801	47	125	19,800	26	130
	邦洋計	339	1	218	181	0	182	656	1	96	323	0	125
	計	20,065	49	147	13,251	29	156	31,457	48	125	20,122	27	130
D	邦洋計	13,264	33	106	22,106	48	102	21,481	33	97	35,563	48	94
	邦洋計	7,319	18	107	10,836	23	106	12,982	20	97	19,017	25	95
	計	20,584	51	107	32,943	71	104	34,463	52	97	54,580	73	94
D	邦洋計	32,990	81	127	35,176	76	117	52,282	79	112	55,363	74	104
	邦洋計	7,659	19	110	11,018	24	107	13,638	21	97	19,339	26	95
	計	40,649	100	123	46,194	100	115	65,920	100	109	74,702	100	102
7プログラム	邦洋計	20	0	58	25	0	36	30	0	79	39	0	54
	邦洋計	25	0	455	43	0	371	28	0	82	47	0	66
	計	46	0	113	68	0	85	58	0	80	86	0	60
合計	邦洋計	33,010	81	127	35,201	76	117	52,312	79	112	55,402	74	104
	邦洋計	7,684	19	110	11,061	24	107	13,666	21	97	19,386	26	95
	計	40,694	100	123	46,262	100	115	65,978	100	109	74,789	100	101

表2. オーディオテープ

	2月 実績						1996年(1月~2月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋計	2,046	99	115	1,626	99	108	3,654	99	98	2,972	99	98
	邦洋計	17	1	48	22	1	70	27	1	37	34	1	50
	計	2,063	100	114	1,648	100	108	3,680	100	97	3,006	100	97
カートリッジ	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	2,046	99	115	1,626	99	108	3,654	99	98	2,972	99	98
	邦洋計	17	1	48	22	1	70	27	1	37	34	1	50
	計	2,063	100	114	1,648	100	108	3,680	100	97	3,006	100	97

表3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	2月 実績						1996年(1月~2月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋計	6,823	100	307	2,357	98	198	12,578	100	275	3,865	97	150
邦洋計	16	0	88	48	2	109	32	0	152	112	3	194
合計	6,839	100	305	2,405	100	195	12,610	100	274	3,977	100	151

表4. ビデオレコード

	2月 実績						1996年(1月~2月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,090	38	110	3,070	38	99	1,992	38	95	5,428	36	82
テープ	1,768	62	108	4,996	62	78	3,262	62	107	9,842	64	79
合計	2,858	100	109	8,066	100	85	5,254	100	102	15,270	100	80

表5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

	2月 実績						1996年(1月~2月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	42,757	82	123	47,909	82	114	69,659	80	108	77,795	80	101
複合型CD	6,839	13	305	2,405	4	195	12,610	14	274	3,977	4	151
ビデオ	2,858	5	109	8,066	14	85	5,254	6	102	15,270	16	80
合計	52,455	100	132	58,380	100	111	87,523	100	118	97,042	100	99

備考 1. 本年実績は、会員会社「30社」の集計である。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

オーディオディスクレコードの輸出入状況

本号は、アナログディスクとCDの輸出入実績（最近5年間）と1995年の地域別輸出入実績を紹介します。
資料：大蔵省関税局「日本貿易統計」（通関実績）から。

表1 アナログディスクとCDの輸出入実績

西 暦	輸 出				輸 入			
	枚 数 (千枚)		金 額 (百万円)		枚 数 (千枚)		金 額 (百万円)	
	アナログディスク	CD	アナログディスク	CD	アナログディスク	CD	アナログディスク	CD
1991	116	12,682	68	6,158	3,729	38,946	2,467	22,546
1992	72	11,376	108	6,029	3,382	35,798	2,186	22,390
1993	72	6,797	119	5,701	3,436	38,951	1,776	25,576
1994	21	7,048	30	5,228	4,815	55,777	2,521	36,554
1995	17	5,765	18	4,764	6,656	72,945	3,376	46,102

表2 アナログディスクとCDの地域別輸出入実績 (1995年)

金額：百万円、数量：千枚、()内は対前年比

国 名	輸 出			輸 入			
	アナログディスク	CD	計	アナログディスク	CD	計	
ア メ リ カ	金額 数量	4 (80) 2 (67)	1,210 (85) 1,250 (50)	1,214 (85) 1,252 (50)	1,826 (147) 3,881 (154)	24,939 (130) 33,575 (158)	26,766 (131) 37,457 (158)
イ ギ リ ス	金額 数量	3 (75) 3 (60)	163 (98) 164 (110)	166 (97) 167 (108)	1,225 (138) 2,034 (137)	7,558 (105) 9,011 (100)	8,783 (109) 11,045 (105)
ド イ ツ	金額 数量	— —	326 (91) 375 (88)	326 (90) 375 (87)	135 (69) 184 (82)	6,404 (126) 9,602 (125)	6,539 (124) 9,785 (123)
オ ラ ン ダ	金額 数量	— —	163 (65) 273 (96)	163 (65) 273 (96)	23 (164) 52 (200)	1,598 (268) 2,286 (266)	1,621 (265) 2,338 (264)
香 港	金額 数量	1 (50) 1 (100)	1,475 (97) 2,217 (107)	1,476 (97) 2,218 (107)	— —	974 (117) 1,716 (81)	974 (117) 1,716 (81)
フ ラ ン ス	金額 数量	1 (33) 2 (67)	220 (102) 202 (110)	221 (101) 204 (110)	8 (100) 8 (73)	582 (89) 652 (79)	590 (89) 660 (79)
オーストラリア	金額 数量	— —	11 (50) 12 (50)	11 (50) 12 (50)	2 (67) 4 (133)	513 (127) 1,334 (142)	515 (127) 1,338 (142)
スウェーデン	金額 数量	1 (—) 1 (—)	9 (47) 8 (44)	10 (53) 9 (50)	4 (200) 8 (267)	490 (261) 543 (270)	494 (260) 551 (270)
イ タ リ ア	金額 数量	4 (133) 6 (300)	53 (123) 71 (148)	57 (124) 77 (157)	33 (65) 87 (72)	444 (69) 991 (95)	478 (68) 1,078 (93)
カ ナ ダ	金額 数量	— —	33 (110) 43 (110)	33 (110) 43 (110)	8 (267) 20 (286)	418 (464) 567 (191)	426 (458) 587 (193)
ブ ラ ジ ル	金額 数量	— —	10 (253) 12 (600)	10 (253) 12 (600)	— —	379 (205) 335 (208)	379 (198) 335 (201)
韓 国	金額 数量	— —	162 (109) 128 (85)	162 (109) 128 (85)	5 (500) 11 (550)	349 (105) 4,750 (98)	353 (106) 4,761 (98)
台 湾	金額 数量	— —	344 (90) 545 (117)	344 (90) 545 (117)	— —	343 (186) 3,936 (224)	343 (186) 3,936 (224)
オーストリア	金額 数量	— —	16 (76) 22 (116)	16 (76) 22 (116)	— —	268 (206) 442 (103)	268 (205) 442 (103)
ルクセンブルグ	金額 数量	— —	4 (—) 14 (—)	4 (—) 14 (—)	— —	173 (98) 265 (101)	173 (98) 265 (101)
シンガポール	金額 数量	0 (—) 0 (—)	236 (64) 293 (73)	236 (64) 294 (73)	— —	150 (56) 1,128 (51)	150 (56) 1,128 (51)
イスラエル	金額 数量	— —	2 (—) 1 (—)	2 (—) 1 (—)	— —	105 (67) 1,041 (75)	105 (67) 1,041 (75)
ベ ル ギ ー	金額 数量	— —	8 (50) 3 (38)	8 (50) 3 (38)	16 (114) 25 (104)	87 (147) 76 (113)	103 (143) 101 (111)
そ の 他	金額 数量	3 (100) 2 (200)	321 (127) 132 (50)	324 (127) 134 (50)	90 (89) 342 (90)	328 (137) 694 (163)	419 (123) 1,036 (129)
合 計	金額 数量	18 (60) 17 (81)	4,764 (91) 5,765 (82)	4,782 (91) 5,782 (82)	3,376 (134) 6,656 (138)	46,102 (126) 72,945 (131)	49,478 (127) 79,600 (131)

- (注) 1. 輸出入実績は、委託加工品(OEM)を含む。
2. CD輸入実績のうち、レコード会社が外国契約会社から直接輸入した数量は、約26%と推定される。
3. 数量は、四捨五入により内訳と合計が一致しない場合があります。